

社会資本整備審議会 道路分科会

第1回中部・近畿地方合同小委員会

議事概要

1. 日 時 平成 24 年 6 月 11 日（月）10:00～11:45
2. 場 所 近畿地方整備局 京都国道事務所 5階 会議室
3. 出席者

[委員]

おおくぼ 大久保 あかね	富士常葉大学・大学院総合経営学部 教授
すがわら 菅原 章文	(社)中部経済連合会 常務理事
なかむら 中村 英樹	名古屋大学大学院工学研究科 教授
ひでしま 秀島 栄三	名古屋工業大学大学院工学研究科 教授
うらお 浦尾 たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役
かわもと 川本 義海	福井大学大学院工学研究科 准教授
たまおか 玉岡 かおる	作家
むねた 宗田 好文	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
○ やました 山下 淳	関西学院大学法学部 教授

※敬省略 ○は副委員長

4. 議 事

- (1) 中部・近畿地方小委員会の運営規則の改正について
- (2) 道路事業に関わる取り組みについて
- (3) 計画段階評価（試行）について
 - ・近畿自動車道紀勢線 新宮～大泊 [三重県・和歌山県]
- (4) 議事概要

<委員からの主な意見>

- ・伊勢、熊野、奈良地域は、日本人の精神的、文化的に特別な地域であることから、その地域特性を、資料、アンケート等に反映すること。
- ・日常の生活道路としての機能を担う事も示すこと。
- ・自治体ヒアリングでは道路のみではなく、高速道路ができるとうなるか、どうしたいのか等、地域における意義や重要性を聞くこと。
- ・津波によらず、大雨等のリダンダンシー機能の確保の面からも、現道活用はない。
- ・大阪や名古屋からのみでなく、圏域（紀伊半島ブロック）内での医療も含めたアクセス時間を整理すること。
- ・アンケートにおいて景観面等への配慮について確認すること。
- ・住民アンケートについては、事業者や道路利用者へのアンケートに比べ回収率が低くなる可能性があるため、回収率向上の工夫を図ること。
- ・ヒアリングについては地域の意見の他に、事業者団体等であれば大阪・名古屋などからの広域的な観点の意見も聞く必要がある。
- ・課題、アンケート内容等、微修正はあるが概ね妥当。